

第 22 回

宮城県理学療法学会

開催趣意および企画

会期 平成 31 年 2 月 3 日 (日)

会場 東北文化学園大学

一般社団法人 宮城県理学療法士会

I. 開催要項

- ・大会テーマ

エビデンスに基づく理学療法

- 臨床での理学療法診療ガイドラインの活用 -

シリーズ第3回

脳卒中、地域理学療法・身体的虚弱（高齢者）

大会長 黒後 裕彦 東北文化学園大学

- ・特別講演

テーマ：腰部疾患における EBPT の実践

～臨床でいかにエビデンスを活用するか～

講師：石田 和宏 先生

我汝会えにわ病院

- ・講演 1

テーマ：理学療法診療ガイドラインの見かた

講師：鈴木 誠 先生

東北文化学園大学

- ・ 講演 2

テーマ：脳卒中 理学療法診療ガイドライン

講師：諸橋 勇 先生

いわてリハビリテーションセンター

- ・ 講演 3

テーマ：地域理学療法・身体的虚弱（高齢者）

理学療法診療ガイドライン

講師：阿部 功 先生

社会医療法人将道会 総合南東北病院

- ・ パネルディスカッション

「地域での活動報告」

- ・ 一般演題（口述・ポスター発表（職場紹介））

- ・会期 平成 31 年 2 月 3 日 (日)

- ・会場 東北文化学園大学
住所：仙台市青葉区国見 6 丁目 45-1

- ・会場整理費

会員	1,500 円
一般	3,000 円
理学療法士養成校学生	無料(受付のみ)

*学会当日、会場内には食事を提供できる場所がございません。当日は昼食をご持参なさるか、もしくは学会受付にて昼食(500 円/個)を販売致しますので、ご利用下さい。

Ⅱ. 趣 意 書

第 22 回 宮城県理学療法学術大会
大会長 黒後 裕彦

テーマ：「エビデンスに基づく理学療法」
--- 臨床での理学療法ガイドラインの活用 ---

このたび、第 22 回宮城県理学療法学術大会を開催させていただくことになりました。県士会ならびに学会関係者の皆様のご協力を賜りながら実りある学術大会にしたいと思っております。

さて、最近の本学術大会は中期的な計画のもとに企画しております。今年のテーマは「エビデンスに基づく理学療法 - 臨床での理学療法診療ガイドラインの活用 -」シリーズの 3 回目となっております。今回の対象は地域理学療法・身体虚弱（高齢者）と脳卒中とし、ガイドラインに沿った視点でとらえてみることにしました。また特別講演では「腰部疾患における EBPT の実践～臨床でいかにエビデンスを活用するか～」と題し、石田先生にお話しいただくこととなりました。多くの人たちに興味をもっていただける企画になればと願っております。

我々の日頃の業務には学びの機会が多くあります。ただし、日常の見慣れた風景が繰り返し押し寄せてくると、どれもが同じに思えてきたりすることがあります。また、忙しすぎると余裕がなくなってしまうがちです。そのため、せつかくの学びの機会が逃げていってしまうことも少なくないと思っております。

そんな中、日頃の喧噪から離れ、いつもと違う空間と時間を感じながら、ゆったりした気分での新たな情報や知識を手にとってもらえる・・・本学術大会がそんな機会になるのであれば本当に嬉しい限りです。また他の職場の先生方の学びの姿にふれるだけでも有意義な時間になることでしょう。このように本学術大会を多くの刺激を受け取れる場として活用して頂ければ幸いです。

本学術大会は、色々なテーマで取り組ませて頂いております。これからもみなさんの意見を反映した学会作りをしていきたいと思っておりますので、御要望などあれば遠慮なくお申し出ください。よろしくお願い申し上げます。

Ⅲ.演題及び症例報告・職場紹介募集要綱

1. 演題発表・症例報告・職場紹介について

宮城県理学療法士会学術局として、宮城県の学術体系の活性化を目的に、演題応募・症例報告・職場紹介をサポートいたします（本書類Ⅳ、「演題発表・症例報告・職場紹介のサポートについて」参照）。学術大会での発表に興味があっても、なかなか一歩が踏み出せなく躊躇してしまっているならば、是非ご相談ください。例として、症例に対する疑問点などを報告としてまとめ、経験豊富な理学療法士からアドバイスいただくようなこともひとつの発表形式と捉えています。このように、新人であっても遠慮なく発表できる体制で学術大会を運営いたします。

加えて、演題発表および症例報告・職場紹介は、専門理学療法士制度・認定理学療法士制度の一般発表としてポイント認定対象（筆頭演者のみ5ポイント）となるため、生涯学習やキャリアアップとしての積極的な応募を学術局として推奨いたします。

2. 応募資格

- 1) 宮城県理学療法士会会員に限ります。
- 2) 共同演者も原則として本会会員に限りますが、会員外の共同演者のある場合は、その発表の主体が本会員であることが必要です。

3. 応募演題に関する倫理上の注意

ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認ください。特にプライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記してください。また、被験者に対しレントゲン撮影や身体に侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、抄録中にそれを施行した人の職種を明記してください。なお、演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載してください。

4. 応募方法（図1、演題投稿から登録完了までの流れを参照）

以下の演題登録完了までの手続きを平成30年10月31日（水）午後5:00までに行ってください。

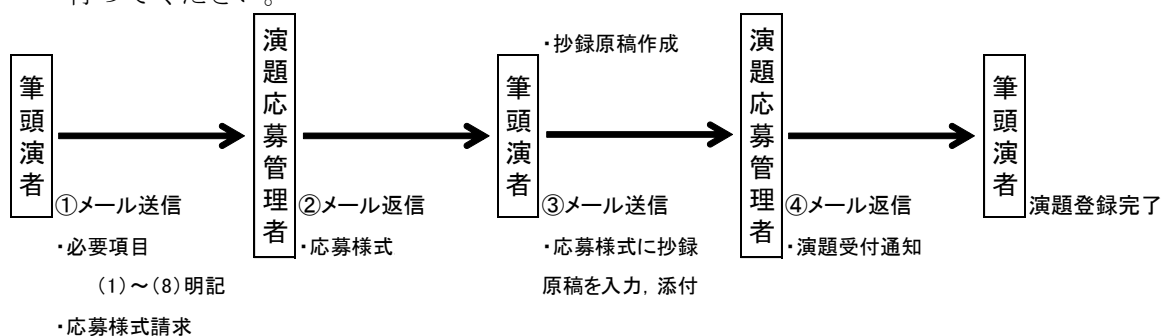


図1 演題投稿から登録完了までの流れ

1) 演題及び症例報告・職場紹介を応募される方（筆頭演者）は、E-mail（アドレス：miyagi_pt@yahoo.co.jp）にて、件名に「演題及び症例報告応募様式請求」と記載のうねメールを送信ください^{図内①}。演題応募管理者が、1週間ほどで演題及び症例報告紹介・職場紹介応募様式（Word形式）を返信いたします^{図内②}。なお、E-mail本文には以下の項目を明記してください。

- (1) 演者氏名（ふりがな）
- (2) 希望発表形式（口述・ポスター・どちらでもよい）
- (3) 会員番号
- (4) 経験年数
- (5) 所属施設
- (6) 連絡先住所
- (7) 連絡先電話番号
- (8) 連絡先アドレス
- (9) 演題および報告内容について、以下の選択肢から1つ選択してください
A：今回、初めての発表である
B：他の学会・研究会・検討会等で発表されたものの発展形である
C：卒業論文等の発展形である

注意事項：B・Cを選択された場合、発表されたものや卒業論文のコピーを、E-mailまたは郵送にて送っていただくことがあります。

2) 筆頭演者が演題及び症例報告・職場紹介の抄録作成後、演題抄録ファイル（応募様式）を添付して、演題応募管理者宛の演題応募先（アドレス：miyagi_pt@yahoo.co.jp）へ件名に「演題及び症例報告・職場紹介応募」と記載のうねメールを送信してください^{図内③}。

3) 筆頭演者として複数演題及び症例報告・職場紹介を登録する場合は、1演題ごとにE-mail送信をお願い致します^{図内③}。

4) 演題及び症例報告・職場紹介応募のメール到着後に演題応募管理者が演題受付通知を送信いたします^{図内④}。これで筆頭演者は演題及び症例報告・職場紹介登録完了となります。1週間経過しても演題及び症例発表・職場紹介受付通知がない場合、お手数ですが筆頭演者はもう一度演題応募管理者宛の演題応募先アドレスにその旨をご連絡ください。それでも演題受付通知がない場合は、大会事務局へご連絡ください。

5. 応募期間および締め切り日

平成30年9月1日（土）午前9：00から10月31日（水）午後5：00（時間厳守）。

6. 演題及び症例報告・職場紹介の発表について

1) 応募された演題及び症例報告・職場紹介の取り消しはできません。不可抗力で発表できなくなった場合は共同演者が発表してください。変更のある場合は理由を

つけて大会事務局にお申し出ください。

- 2) 一般演題の発表形式は口述もしくはポスター発表となります。ただし、演題及び症例報告・職場紹介確認の段階で、発表形式がご希望と異なる場合があります。発表形式の最終決定は、大会長にご一任ください。
- 3) 口述発表およびポスター発表の発表時間はともに7分を予定しています。
- 4) 演者は指定された時間に各会場で待機してください（厳守）。ポスター発表時には発表ブースに各ポスターを移動し発表を行ってください。発表時は座長の指示に従ってください。
- 5) ポスター発表の演者は、演者受付終了後下記時間帯（厳守）によりポスター貼付および撤去を行ってください。ポスターは展示パネルに貼付することになります。

ポスター貼付：平成31年2月3日（日） 08：50～10：00

ポスター撤去：平成31年2月3日（日） 最終セッション終了後

6) ポスター作成要領

ポスター展示パネルのサイズは、「縦180 cm、横90 cm」です（図2）。

演題番号は大会事務局で用意いたしますが、ポスターとは別に「縦20 cm、横70 cm」で「演題名」・「所属」・「氏名」を記載したものを演者自身で作成し、演題番号の横の位置に貼付してください。したがって、パネルに貼り付けできる発表スペースは「縦160 cm、横90 cm」です（図3）。

7) ポスター展示上の注意

展示パネル上に直接図表や文字を書いたりしないでください。また、直接ポスターを展示パネルに糊付けしないでください。貼付物品は大会事務局で用意いたしますので、指示に従って掲示してください。

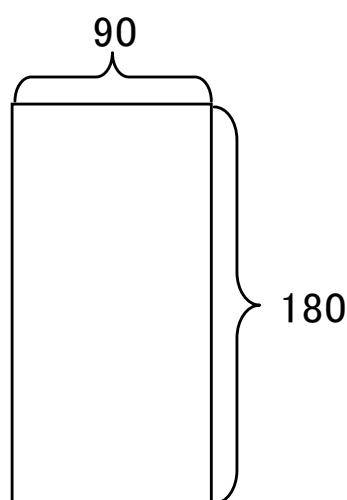


図2 ポスター展示パネルサイズ

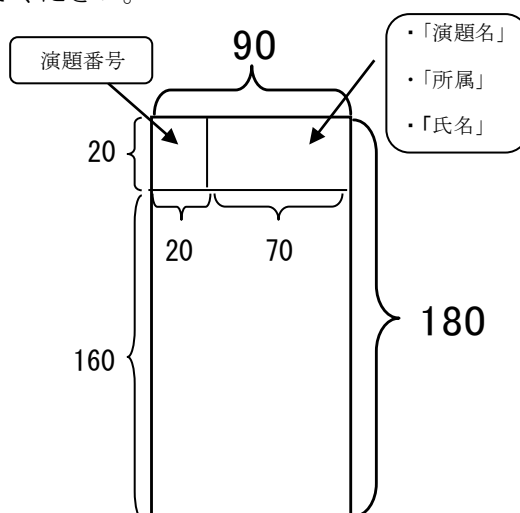


図3 パネル内の発表スペース

7. 優秀演題の表彰について

優秀な発表演題に対して以下の通り表彰を行います。

1) 表彰内容

(1) 大会最優秀賞

大会発表演題の中で優秀と思われ、理学療法分野への貢献度が非常に高いと思われる演題。

(2) 大会奨励賞

将来の理学療法分野の知識・技術の体系化に発展する可能性の高い演題。何年かにわたり、あるジャンルの開拓に継続的に寄与し、その努力・実績の認められる演題。

(3) 新人賞

主演者が理学療法士免許取得後3年未満の発表演題に対し、独自性、客観性、論文背景、技術的貢献などのうち、いずれかの側面が卓越しており、将来性の認められる演題。

2) 選考方法

セッション毎に座長が各賞に値すると思われる演題を推薦し、大会準備委員会にて審議の上、大会長が最終的に受賞者を決定します。

3) 表彰式

次回の宮城県理学療法学会大会にて表彰式をとり行います。

8. 問い合わせについて

目的によって問い合わせ先が異なりますのでご注意ください。

E-mailでの問い合わせの場合は、必ず件名に「第22回宮城県理学療法学会大会に関する問い合わせ」と書き、発信者名、連絡先を添えてください。

1) 大会事務局

〒981-3682 黒川郡大和町吉岡字西桜木 60 番地
公益社団法人 地域医療振興協会 公立黒川病院 山口 倫生
Tel : 022-345-3101 Fax : 022-345-3143

2) 演題応募管理者

公益社団法人 地域医療振興協会 公立黒川病院 伊藤 智也
E-mail: miyagi_pt@yahoo.co.jp

IV. 演題発表・症例報告・職場紹介のサポートについて

本サポートは、第 22 回宮城県理学療法士学会大会の演題のみならず、第 22 回以降を見据えての相談もお受けいたします。そのため、利用期間等は設けませんので、是非お気軽にご利用ください。その他にも研究や論文投稿、研修会運営・参加などについても、学術局として活動を可能な限りサポートする方針です。

学術局 東北文化学園大学 医療福祉学部 鈴木 誠

〒981-8551 宮城県仙台市青葉区国見 6-45-1

Tel: 022-233-3854 E-mail: m-suzuki@rehab.tbgu.ac.jp